

地域のシンボルとして
親しまれる施設に。



クリーンピア射水 所長

高松 徹さま

「クリーンピア射水」は、ごみを完全焼却処理する「流動床焼却炉」を備えた、最新鋭のごみ処理施設です。新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村の1市3町1村に暮らす約9万5000人の一般家庭から出るゴミを処理。焼却した際に生じる焼却飛灰を溶融してアスファルト用骨材などに有効利用するなど、リサイクルにも力を入れています。

目指したのは、ゴミ処理施設のイメージを払拭するような温かみのある施設づくりでした。小学生や中学生をはじめ、地域の方にも積極的にご見学いただけるような施設にしたかったです。そのため、外観はもちろん、見学ルートや会議室の照明にも明るい雰囲気になるよう配慮しました。すでにたくさんの方にご見学いただいています。



中央制御室：OAブルーバ付きのHf32W2灯用システムアップ器具でディスプレイへの映り込みを防止



ゴミが搬入されるプラットフォーム：電動昇降装置付高天井用反射笠器具で高効率形の400Wメ



会議室：プロジェクターを使用するため、Hf32W2灯用白色バツフル付調光器具を整列配置。調光用にコントルクスを設けている



溶融制御室：Hf32W2灯用白色バツフル付器具を使用

メージを一新。



タルハイドランプと360W高圧ナトリウムランプの混光照明としている

■施工物件 クリーンピア射水

■建物の概要

所在地：富山県射水郡小杉町西高木1150

延床面積：8,765.18m²

構造・規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上4階・地下1階

設計：(株)神戸製鋼所

監理：(株)中部設計

施工／(株)神戸製鋼所

／電気協力：柴田電気工事(株)

竣工：平成15年3月



見学者ホールからプラットフォームを望む：木の素材感に調和するよう、ダウンライトには暖かみのあるコンパクト形蛍光灯電球色を使用



見学者ホールからゴミビットを望む：プラットフォーム同様の混光照明

温浴施設：焼却熱を利用した温浴施設。30W形サークルライン1灯用防雨形器具を主照明に



プラント優先の工場棟では、現場での変更にも的確に対処。

オーナー様やコンサルタントを交えて、検討会を5回は開いたのでしょうか。その際、事務棟は落ち着いたある照明にといった具体的なお話がありました。工場棟の高天井用反射笠器具は、メンテナンスがしやすいようにオートリレーに。作業する人のことを考えて目にやさしいように、400Wメタルハイドランプと360W高圧ナトリウムランプの混光照明にしています。事務棟は、OA機器への映り込みを避けるため、下面開放から荒めのルーバ付きに変えたりと、設計図からの変更もありましたね。大変だったのは、工場棟の施工。あくまでもプラント優先ですから、それが終わらないことには照明器具を付けられないんです。実際、施工の段階になってダクトが入っているからきれいに入らなかったり、現場での変更も少なくありませんでした。4階建ての工場棟をそれぞれ行ったり来たり。ちょうど、暑ささかりだったので、いい運動になりました(笑)。

柴田電気工事株式会社 高岡支店
工事部工事課 課長

関 正弘さま

